

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和2年度病害虫発生予察注意報第5号を発表したので送付します。

令和2年度病害虫発生予察注意報第5号

- 1 作物名 オクラ
- 2 害虫名 フタテンミドリヒメヨコバイ
- 3 発生地域 石垣島

4 注意報発令の根拠

石垣島における7月のほ場調査の結果、本種の発見頭数は4.8頭/葉（平年：1.1頭/葉）、発生ほ場率100%（平年：65.1%）となり、平年と比べ多発生となっている（図1、図2）。

5 発生生態および被害

- (1)成虫は体長2.7～3.2mm。複眼は白色、頭胸部は黄緑色、上翅は半透明白色で翅の末端に一对の黒点がある（図3、図4）。
- (2)国内では奄美大島、沖縄県、本州、小笠原諸島に分布し、オクラ・ハイビスカス・ナスへの寄生が確認されている。
- (3)雌成虫は黄白色の卵を葉脈に一度に15卵ほど産卵する。卵期間：4～11日、幼虫期間：7～21日、成虫寿命：35～50日、年間7世代発生するとされている。
- (4)幼虫・成虫とも新葉や茎から吸汁する。

6 防除上注意すべき事項

- (1)多発すると被害葉は黄変萎縮し、株の生長及び収量に影響を及ぼすので、定期的に葉裏を観察し、早期発見・防除に努める（図5、図6）。
- (2)収穫残渣は発生源になるため、早めに片付ける。

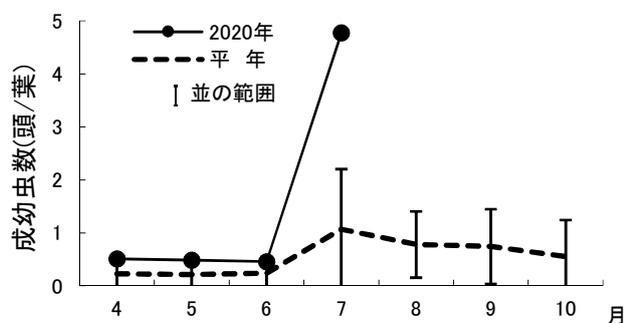


図1 今期と平年の発生推移

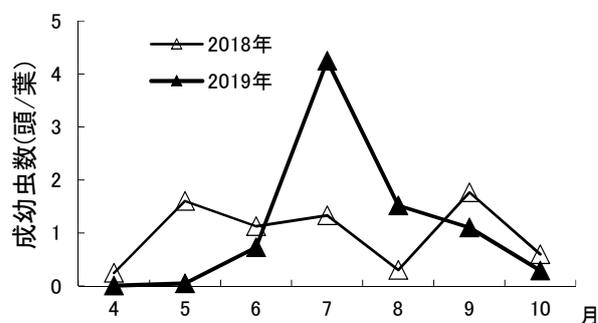


図2 過去2年の発生推移



図3 フタテンミドリヒメヨコバイ (成虫)



図4 フタテンミドリヒメヨコバイ (幼虫)



図5 多発時の様子



図6 黄変した葉